

災害発生時の住民避難情報収集システムの検討

201012008 猪俣 隆行

201012018 神田 裕基

柏崎市では、災害が発生すると負傷者の人数や物的被害の状況等を町内会長が調査し、近隣のコミュニティセンターに紙媒体で報告することになっている。この現状に対して ICT（情報通信技術）を活用し、迅速かつ正確な情報収集・伝達を実現したいという要望が市内の自主防災会（東訪振興協議会）より寄せられた。本研究は、災害発生時の住民避難に係わる情報をタブレット端末やスマートフォンを用いて入力し、コミュニティセンターにおいて収集した情報を簡単に取り扱うシステムの開発を目的としている。初めに既存のコンテンツ・マネージメント・システムである Joruri の利用を検討した。次に PHP 言語を用いて同様の処理を実現する Web アプリケーションを作成し、自主防災組織の役員に意見を伺った。また、その意見を踏まえてアプリケーションを改良し、依頼された仕様を満たすことが出来た。